

## 様式

### パブリック・コメント募集結果

「白井駅・西白井駅周辺ビジョン（素案）」について、皆様からご意見を募集したところ、下記のとおり、御意見をいただきました。

いただいた御意見とこれに対する本市の考えにつきまして、次のとおり取りまとめましたので、公表いたします。

案 件	白井駅・西白井駅周辺ビジョン（素案）		
募集期間	令和8年1月31日（土）～ 令和8年3月4日（水）33日間		
意見の件数 （意見提出者数）	25件 （15人）		
意見の取扱い	修正	素案を修正するもの	件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	件
	参考	素案には反映できないが今後の参考とするもの	件
	その他	素案には反映できないが意見として伺ったもの	25件

## 2. 白井市の強みと現状 について

No.	意見	該当 ページ	意見に対する市の考え
1	<p>西白井より東京寄りの新鎌ヶ谷から先は駅前のカラーが雑多に固まっていて、白井より東の印西は「東京の入口」としては遠すぎる。白井・西白井は成田空港から都心へ向かう人の玄関と言える立地なので、条件を活かした計画なら実現できると思う。</p>	P10	<p>御意見のとおり、立地等の市の強みを活かしたまちづくりが重要であると考えており、今後の参考とさせていただきます。 【その他】</p>
2	<p>■該当ページ 白井市の強み「空港と都心への良好なアクセス」について 記載はあるものの、実態として白井駅は“通過駅”となっており、駅前には人が集まりにくく、にぎわいに欠けている。</p> <p>■課題 北総線は運行本数・ダイヤの余力が限定的で柔軟な増発が難しい。白井駅はスカイライナー・アクセス特急の通過駅であり、都心方面への移動時間が相対的に長い 新鎌ヶ谷などでの乗り換えが発生し利便性が十分でない</p> <p>■提案 白井市の中心である白井駅を「特急停車駅」とする構想を検討し、駅前～市役所エリアを“白井らしさ”を集約した小規模拠点（大型商業施設ではなく、日常+週末の集客を両立する拠点）として再整備する。 ●白井駅を“通過駅”から“目的地”へ【第一段階】 朝夕時間帯における快速・アクセス特急の一部停車「白井始発」列車の設定（着席通勤の実現）など【最終目標】 白井駅を特急停車駅とすること</p> <p>■白井駅～市役所エリアの位置づけ この動線は、白井市の将来像を象徴する最重要エリアとなり得る。単なる移動のための通路ではなく、暮らし・行政・産業・交流がつながる都市空間として再構築する。</p> <p>■京成電鉄への要望書提出の検討 成田空港の機能拡張に伴い、京</p>	P10	<p>空港アクセスルート上の自治体として、市民利便性向上等の観点から鉄道会社との協働は重要であると考えています。</p> <p>市では、京成電鉄株式会社及び北総鉄道株式会社と、令和3年度から駅周辺地域活性化事業に係る定期的な意見交換をしております。</p> <p>いただいた御提案については、民間事業者の経営判断となるため、市の一存で決められるものではございませんが、本ビジョンに記載のとおり、「多様な主体との連携・協働やエリアマネジメントにより、経済活動・住民満足度の促進向上」に向けて、今後も協議を続けてまいります。 【その他】</p>

<p>成電鉄は成田スカイアクセス線の輸送力増強に向けた検討を開始している。白井市としても、空港アクセスルート上の自治体として、市民利便性向上の観点から京成電鉄へ要望書提出を検討いただきたい。</p> <p>【参考ニュース】京成電鉄は、成田スカイアクセス線の新鎌ヶ谷～印旛日本医大間（約20km）の複々線化を検討開始。スカイライナー・新型有料特急と、アクセス特急・北総線列車の線路を分離し、新たな複々線区間では最高速度160km/h運行を可能とする計画が示されている。</p>		
---	--	--

### 3. 将来像の設定 について

No.	意見	該当 ページ	意見に対する市の考え
3	<p>高齢化が喫緊の課題だが、項3については、定年世代が急増しているため、R7年の国勢調査以降昼間人口は急激に増加すると見込まれるのではないかと。上記から、昼間人口を増やすことを「先ずは」とするのは如何かと思う。先ずはというなら20代～30代の居住者流出を重視すべきではないか。当市は都心のベッドタウン的距離に存するので、日中の人口が減るのはやむを得ないと思う。考えられるのは、日中子どもや親の面倒を見てくれるサービス業を充実させ、そこへの人材を呼び込むことかと思う。</p> <p>データセンターや大規模な工場、倉庫などの景観を損なったり騒音を出したりする様な企業施設の誘致は住民とのトラブルに発展するリスクも大きく、実現に時間を要するのではないかと。住民は、本当に「市内に住んで市内で働くこと」を望んでいるのか。もし本当に市内で働く人を増やしたいなら、ネット環境の充実と心理的に良好な環境空間をしっかりと整え且つ（収入に響かない）低料金の「こ</p>	P14	<p>滞留空間につきましては、単に店舗等を創出するのではなく、何のためにつくるのかという目的と、その目的達成に必要な機能や規模等について、事業収支の観点から逆算的に組み立てることが重要だと考えています。</p> <p>また、20代～30代の居住者流出について、市が令和4年12月に実施した「転出入者等アンケート調査報告書」によれば、20歳代の転出理由は「就職のため」が40.2%で最も多く、「転職のため」、「転勤のため」を合わせた『仕事の都合』が64.1%となっています。30歳代では、20歳代と比べて『仕事の都合』は減少し、「住宅購入のため」や「生活環境を良くするため」が増加しています。</p> <p>若い世代の定住等について、第6次総合計画基本構想では、今後10年間に取り組むべき重要テーマの一つとし</p>

	<p>ここで PC を操作してリモートワークしたい」と若者が思えるような、かなりクオリティの高いワーキングスペースを駅周辺に点在させるようなプランが必要と思う。勿論そのエリア内には、リモートワーカーが必要とする打ち合わせ場所や食事お茶のカフェなど休憩所、身体を整えるジム、心を休めるリスニングルームなども用意する必要がある。それは総じて P16 の滞留空間とも呼べるかもしれない。</p>	<p>て「若い世代や子育て世代への支援の充実」を掲げており、今後も白井市で子育てしたいと思える魅力を高めるために、充実した教育環境等を整備してまいります。</p> <p>なお、本市の 65 歳以上人口は、令和 7 年度の約 18,000 人から、令和 22 年度には約 21,000 人へ増加する見込みですが、一方で 15～64 歳人口は約 37,000 人から約 29,000 人に減少し、併せて総人口も減少する見込みです。</p> <p>御意見のとおり、高齢化により昼間人口（昼間に白井市に居る人）が増える可能性もありますが、地域経済活性化等の観点から、特に中心都市拠点である白井駅周辺は、昼間の人口を増やすような来訪目的の創出が重要であると考えています。</p> <p>【その他】</p>
4	<p>白井駅周辺の将来像「『集う』と『働く』が交わる都市拠点」の方向性には賛同します。その実現に向けては、昼間人口増加の戦略として 15～29 歳の若年層および子育て世代を重点ターゲットとして、より明確に位置づけていただきたいと思います。</p> <p>若者が単に利用するだけでなく挑戦できる拠点として、起業・副業支援、チャレンジショップ、企画運営への参画機会などを制度的に整えることが必要です。また、「子育てしやすいまち」を掲げるのであれば、送迎動線と両立できるシェアオフィスや一時預かりと連動したワークスペースなど、子育て世代が駅前で働き続けられる環境整備も重要です。</p>	<p>P15</p> <p>起業支援につきまして、市では、第 6 次白井市総合計画前期基本計画の重点事業として「創業支援事業」を掲げています。様々な業種での起業・創業を支援することで、市の産業や関係者同士のコミュニティの活性化、新たな雇用の創出などが期待できると考えています。</p> <p>また、第 2 次産業振興ビジョンでは、商業施策の基本方針 4 として「新規開業に至るまでの切れ目ない支援体制の構築」を掲げており、特に現在欠けている資金面での支援について、信金や地銀との連携体制づくりに取り組んでまいります。</p> <p>若年層および子育て世代へのアプローチについては、第 6 次総合計画基本構想において、「若い世代や子育て世代への支援の充実」を定めており、関連する事業を着</p>

			<p>実に推進してまいります。</p> <p>いただいた御意見を参考に、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
5	<p>白井駅周辺交流ができる場所、賛成です。</p> <p>平日の昼間の憩いの場～食事できる（提供してくれる）お金払うよ！って感じ。</p> <p>西白井駅の夜のみ営業をしているお店で、週1 AM6 時～8 時で朝カフェをされてる方がいらっしゃるとききました。朝から高齢者でいっぱいだそうです。白井駅らへんの住民の顔もみるとか・・・</p> <p>木戸公園で毎朝「ラジオ体操」にたくさん集ってるのもよく見ます。</p> <p>歩いて行ける駅前にそういう場所があると元気な高齢者が増えるかな・・・と思います。本屋も欲しい！（食事提供する方も60 歳以上もOK かと）</p> <p>駅を降りて仕事帰りに「あ！牛乳なかった！」と総菜とか食料品が買えるお店があると便利かなと思います。夏なんかは買い置きにも限度があるし・・・災害時でもスーパーのような店舗があると、万が一一時避難しなければならなくなったとき協力が得られるのでは？と思います。</p> <p>駅前保育所はできませんか？私の時代は南山保育園しかなく体力的に無理・・・となり退職しました。駅前に保育所があれば親の支援を受けることなく仕事を続けられる人が増えるかなと思います。</p> <p>若い人だけ、年よりだけの駅前でなくみんなの駅前になると良いな・・・と思います。思いつくまま書きましたので乱筆乱文お許しく下さい。</p>	P15 ～17	<p>白井駅、西白井駅周辺は、本市の中心都市拠点・生活拠点であり、御意見のとおり、多世代が利用する拠点であるべきだと考えています。</p> <p>具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>

6	<p>地域経済だが、市内の産品やサービスが、本当に住民のニーズに適っているか検証すべき。高齢化した住民のニーズに応えられるサービスの充実のための人材は確保できるのか疑問である。官民連携の施設再編は是非実現すべきことと考える。前述のP14へのコメントをこのイメージに投影してこれからの計画を創出して頂きたい。…が、この「素敵空間」をまず造らないとその先に進めない。造る物が中途半端な物では人流の誘致には繋がらないので、かなりの予算を確保しないとイケないだろう。その資金をどう捻出するのか。今の段階では「絵に描いた餅」に見える。</p>	P16	<p>御意見のとおり、特に資金捻出は重要な課題と考えています。</p> <p>市の令和6年度決算については、現時点で本市の財政状況は健全ですが、実質単年度収支は約6億4千万円の赤字で、歳入不足を財政調整基金で賄っている状況です。</p> <p>また、老朽化した公共施設への大規模改修への対応が続くことが見込まれることなどから、今後の財政状況は楽観できない状況にあります。</p> <p>こうした中、本ビジョンに描く将来像を実現するためには、行政単独ではなく、民間事業者の共感投資を呼び込み、官民連携で事業を推進していく必要があると考えております。</p> <p>そして、民間事業者の共感を得るためには、予め市が駅周辺地域の将来像の方向性を『メッセージ』として発信し、民間事業者の投資の『判断材料』にしてもらう「駅周辺ビジョン」が必要だと考え、今回の素案策定に至りました。</p> <p>本ビジョンに基づき、行政がまちづくりの方向性を示しつつ、民間事業者がその柔軟な発想や集客・運営力を最大限に発揮することで、駅周辺地域のまちづくりを進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
---	--	-----	--

7	<p>【「農」と「暮らし」をつなぐ拠点へ】</p> <p>白井市の強みは、自然や農に身近に触れられる環境にあります。特に子育て世代に対して食育・環境教育の機会を提供することは、白井市ならではの魅力になると考えます。耕作放棄地の活用、市民農園の拡充、農体験プログラムなど「農のある暮らし」を提供する拠点となることを期待します。</p> <p>【農業従事者への支援】</p> <p>6次産業化支援施設の整備をするのであれば、同時に農業基盤そのものの維持・強化も進めて欲しいです。農業従事者は減少傾向にあり、耕作放棄地は増加傾向です。まずは農家支援や新規就農支援を強化し、6次産業化を見据える新規就農者に農地を積極的に斡旋する仕組みを整えることが必要です。</p>	<p>P17</p> <p>農業従事者の支援につきまして、第6次総合計画前期実施計画では、農業に従事しやすい環境づくりなどに取り組む「担い手育成事業」や、大学や企業等の知見・技術を活かしたスマート農業等の体制構築に取り組む「農業生産技術・経営改善支援事業」等を定めています。</p> <p>御意見のとおり、本市は梨を中心とした農業が盛んですが、産業構造の変化や担い手不足によって、農を中心とした営みが衰退しつつあります。今後の農業の持続性を確保するためには、市内外より農業への多様な関わり方を促進して、地域農業の活性化を図ることが重要と考えております。</p> <p>また、子育て世代に対しては、御意見のとおり魅力的な教育環境を整えることが重要と考えており、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>【その他】</p>
8	<p>【商業機能の積極的な誘致を要望します】</p> <p>「地場産業のアンテナショップ」や「カフェ」だけでなく、若者や子育て世代が日常的に利用したくなるような、より求心力のある大型商業施設やテナントの誘致を積極的に行ってください。</p> <p>現状のままでは近隣市への流出が止まらず、街が衰退していくことに強い危機感を持っています。人が集まる「強い駅前」を作るため、民間活力を最大限に導入した大規模な再開発を求めます。</p>	<p>P17</p> <p>御意見のとおり、持続可能な拠点とするためには、民間活力を最大限に活用し、来訪目的となるような駅前整備が必要です。また、その事業規模は、事業収支の観点から逆算的に組み立てることが重要であると考えます。</p> <p>一方で、民間の大型商業施設のみに依存した駅前は、その企業が撤退した際に急激に魅力が低下することが想定されます。さらに、本社が他市にある場合は、地域経済が他市に流出してしまう（白井市民が購入・消費等したことにより得た利益は、本社の企業所得となり、白井支店に再投資されるかは不明など）懸念もあります。</p> <p>本市の地域経済を活性化するためには、御意見にあるように求心力のある多種多様な企業を誘致しながら、地</p>

			場産業の発展も並行して推進する必要があると考えます。 【その他】
9	<p>【他市に負けない魅力的な子育て施設の整備を求めます】 「安心して子育てできる環境」という方向性に強く賛成しますが、単なる広場や既存施設の改修にとどまらず、雨天でも子供が遊べる屋内施設や、学習支援施設など、子育て世代が「ここに住みたい」と思えるような具体的で魅力ある施設の整備を早急に進めてください。子育て世代として現状の街の活力低下に危機感を感じており、若年層を呼び込める大胆な投資が必要です。</p>	P20	<p>御意見のとおり、白井市で子育てをしたいと思う若い世代の定住を促進するためには、魅力的な教育環境を整えることが重要です。 単なる老朽施設の個別更新に留まらず、多世代が交流し、誰もが憩い・活動できる場を実現するため、駅周辺の利便性を活かした官民連携による複合的な再編を目指します。 【その他】</p>
10	<p>毎日過ごしたくなる空間…白井西白井の住民の多くが「自然や緑地の環境」に満足している。逆に人的な商業施設、駅前センター・複合センターのような公共施設や地域コミュニティ拠点の数、建物、自宅からのアクセス等にとっても不満を抱いている。P21についても P17 同様のコメントをお届けしたい。</p>	P20 ~21	<p>毎日過ごしたくなる空間を創出するためには、御意見のとおり商業施設や公共施設へのアクセス性は重要であり、誰もが移動しやすいよう安全性や回遊性を高める必要があります。 多世代が交流し、誰もが憩い・活動できる場を実現するため、老朽施設の個別更新に留まらず、駅周辺の利便性を活かした官民連携による複合的な再編を目指します。 【その他】</p>
11	<p>全ての文が「〇〇します」となっているが、それは「市が責任をもって遂行する」という事だろうか。ロードマップが全く見えていないので現実味を感じない。単に「考え方」を示しているに止まり「実現できるかどうか」はわからないということか。</p>	P22	<p>本ビジョンは、「策定の目的」にあるとおり、駅周辺地域の将来像の方向性やその実現に向けた道筋を示すもので、持続可能な拠点形成を『実現』することに意義があると考えています。 御意見の趣旨は、本ビジョンを策定したとして、「市</p>

		<p>は実現する意向があるのか、実現可能性はどう考えているのか」といった御懸念からかと存じます。</p> <p>市では、第6次総合計画前期実施計画において「中心都市拠点・生活拠点づくり事業」を重点事業（今後5年間で特に重点的に取り組む事業）に位置付け、本ビジョンやサウンディング調査結果等に基づき、官民連携による民間開発の誘導及び都市計画施策を検討、実施することとし、さらに当事業をフロントランナー事業（市全体の持続的発展の核を形成する事業）としても位置付けています。</p> <p>また、本事業の実現に当たっては、地権者や事業者等との合意形成が重要であるため、白井市まちづくり条例に基づく協働の枠組みを活用し、地権者で構成される地区まちづくり協議会や、民間事業者の事業検討パートナーとともに、駅周辺のまちづくりについて協議しているところです。</p> <p>加えて、これまでのような行政主導による従来型のまちづくりではなく、「4-1 事例紹介」にあるような官民連携によるまちづくりを目指すことで、実現可能性を高めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
12	<p>【白井駅周辺について】</p> <p>若者や子育て世代の定着には住宅政策との連動が不可欠です。今後、駅周辺の集合住宅の空き家増加が見込まれる中、若者向け賃貸やリノベーション活用、住居兼事務所モデルなどを戦略的に検討し、「住む・働く・挑戦する」が近接した都市構造への転換を図るべきです。</p>	<p>P22</p> <p>御意見のとおり、全国的な人口減少局面においては、住宅供給が過多となり、団地やマンション等について将来の大規模修繕リスクが懸念されます。</p> <p>市では、第6次総合計画前期実施計画において、住宅の管理者や居住者と共に既存の住宅ストックのあり方をエリア一帯で描き、描いた将来ビジョンを実現するため</p>

	<p>なお、近隣市のような駅前の高層マンション建設には慎重であるべきだと考えます。人口減少局面における将来の大規模修繕リスク、駅前周辺でのイベント開催時の騒音問題を踏まえると、駅前にはぎわいと活動を優先する空間として整備していただきたいです。</p>		<p>の手法を模索し、伴走型で支援する「住宅ストック再生事業」を定めており、子育て世代への定住支援等と併せ、取組を推進してまいります。</p> <p>【その他】</p>
13	<p>「議論が進み土地利用が具体化する中」とあるが、対象に白井駅半径 500m 以内は、商業・公共施設と住宅が建設されており、今後はこれらをスクラップ&amp;ビルドして用地を確保するしかないと思われる。商業施設はスーパーマーケット以外駅前になくとも構わないものが大半なので、郊外適地への移転を求めるべきではないか。公共施設も郵便局が 2 階建てなので、高層化して有効活用すべきである。堀込団地もエレベーターのない老朽化した 5 階建てなので、集約して高層化すれば空いた土地を利用できると思われる。いずれにしても使用できる土地の確保がなければ、このビジョンは実現できないので、早急に土地の手当てについて着手願いたい。</p>	P22	<p>本市の駅周辺は、御意見のとおり空地が少なく、本ビジョンを基に描いた将来像を実現するためには、産業用地の不足に対応した企業誘致が必要であると考えています。</p> <p>この点について、市では、企業誘致基本方針を策定し、併せて白井市まちづくり条例に基づく協働の枠組みを活用することで、地権者で構成する地区まちづくり協議会とともに、白井駅・西白井駅周辺の土地利用について、協議を進めています。</p> <p>また、官民連携事業として、施設を集約・高層化し、保留床を事業費の一部に充てるなどは有効な手法であり、その事業規模を事業収支の観点から逆算的に組み立てることが重要であると考えます。</p> <p>なお、公共施設については、「白井市公共施設の最適配置基本方針」を令和 7 年度に策定しており、本方針に基づき、白井駅前センターや西白井複合センター等の市有地についても最適配置を検討してまいります。</p> <p>【その他】</p>

14	<p>【若年層・ファミリー層向けの住宅開発を優先してください】</p> <p>「市場性にに基づき整備」とありますが、成り行き任せでは高齢化が進む一方だと懸念しています。駅周辺においては容積率の緩和などを行い、子育て世代や現役世代が購入しやすいマンションや住宅の供給を政策的に誘導してください。街の新陳代謝を促し、将来にわたり活気を維持するためには、現役世代の人口確保が最優先課題であると考えます。</p>	P22	<p>御意見のとおり持続可能なまちづくりを実現するためには、若い世代が定住し、人口のバランスを保つことが重要だと考えています。</p> <p>また、全国的に人口減少が進む中では、住宅が供給過多になる懸念があり、御意見にあるように、ターゲットを明確にした住宅政策を戦略的に実施することが重要です。</p> <p>子育て世代等に選ばれるため、単に住宅を創出するのではなく、本ビジョンにあるような様々なコンセプトを実現し、エリアの価値（魅力）を向上させた上で、市場性にに基づいた整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
15	<p>地権者主導でエリア全体の調和がとれた事業が可能なのか。ここまでの説明にあった様々な「目指すもの」を、令和8年度中に全ての対象地権者個々に理解して貰える目途はあるのか。行政・地権者・住民と共有できると考えているのか。</p>	P23 ～24	<p>地権者の合意形成については、令和4年度に「白井駅周辺地区まちづくり協議会」、「西白井駅周辺地区まちづくり協議会」がそれぞれ設立されており、勉強会やサウンディング型市場調査の結果などを通じて、地権者が主体的にエリア一体的な土地利用を協議しているところです。</p> <p>また、土地利用については専門的な知識や助言等が必要なことから、事業検討パートナーの募集を市が支援しており、選ばれた事業検討パートナーが地権者個々と協議し、合意形成を進めています。</p> <p>西白井駅周辺地区まちづくり協議会については、事業検討パートナーがすでに選定されており、白井駅周辺地区まちづくり協議会においては、令和8年度に事業検討パートナーを選定し、地権者の合意形成を進めていく予定です。</p> <p>【その他】</p>

16	<p>【計画のスピードアップを強く求めます】</p> <p>令和9年度以降に具体化というスケジュールでは、その間にますます少子高齢化と施設の老朽化が進行してまいります。駅前の衰退は待ったなしの状況です。サウンディング（事業者対話）などのプロセスを前倒しし、可能な限り早期に事業着手できるよう、スケジュールを加速させてください。悠長な議論ではなく、スピード感のある実行を求めます。</p>	P24	<p>いただいた御意見のとおり、事業の実現に向けて、スピード感ある実行が必要だと考えています。</p> <p>サウンディング型市場調査については、令和5年度～7年度までに白井駅周辺地区で2回、西白井駅周辺地区で1回実施しております。</p> <p>また、西白井駅周辺地区まちづくり協議会においては、事業検討パートナーが選定されております。</p> <p>今後も、地権者等と丁寧な合意形成を図りつつ、官民連携により民間事業者のノウハウ等を取り入れ、可能な限り早期の事業実現を目指してまいります。</p> <p>【その他】</p>
----	---	-----	---

## その他 について

No.	意見	該当 ページ	意見に対する市の考え
17	<p>活気ある商店街で生活する上で偏りのない店舗が入って欲しい。白井駅前は何らかの歯医者か美容院理容店が多く、高校生が集える場があるとよいのと思います。ビル風も凄くて考えた建物の設計をお願いしたい。</p>	—	<p>具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>また、ビル風対策については、開発事業者等と協議する際の参考にさせていただきます。</p> <p>【その他】</p>

18	<p>白井駅は、西白井駅と異なり、駅前に飲食店がほとんどありません。電車を利用して夜遅くに帰宅した際、居酒屋はあるものの、気軽に立ち寄れる飲食店（ファミリーレストランやファストフード店など）がないため、一度自宅に戻ってから車で食事に出かけることが多々あります。日常生活の中で、やや不便さを感じている点です。</p> <p>一方で、駅前にはスーパーが2店舗あり、買い物環境については満足しています。現状で最も困っているのは、飲食店の選択肢が少ないことです。資料内では撤退リスクについても触れられていましたが、駅前の利便性向上という観点から、白井駅周辺に気軽に利用できる飲食店が増えることで、より生活しやすい街になると考えています。ご検討のほど、どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>現在の駅周辺においては、御意見のとおり、飲食店の選択肢が多くない状況であると認識しております。</p> <p>市が令和6年12月に実施した「第15回住民意識調査」では、駅前（駅から約200～300mの範囲）で特に重要であるとする施設・機能は何ですか？という設問に対し、白井駅・西白井駅ともに「飲食系商業施設」が最多回答でした。</p> <p>具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
19	<p>商業ビルの早期実現を切に願います。この先も住み続けたい街になりすように。</p>	<p>具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
20	<p>千葉北道路(464号線)白井市ハーフインターチェンジ付近に商業施設(道の駅の様な立ち寄りしたくなる施設)白井市紹介特色あるお店造り。</p>	<p>千葉北道路(464号線)白井市ハーフインターチェンジ付近において、「七次・白井木戸地区まちづくり協議会」が令和4年度に設立されており、市は、地権者とともにエリア一体的な土地利用について協議しています。</p> <p>令和7年度は「農業と商業が生むにぎわいと地域振興の場」をエリアコンセプトに、事業検討パートナーを選定しました。</p> <p>具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、本地区に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>

21	<p>働く場所、飲食店、千葉の食べ物が並ぶ店、習い事などコミュニティの場！お花屋さん！テナントが、入れるなど… 総合公園で、イベントをやる様な 芝生の広場など または、四季スポット！花や植物を観に、西白井駅に降りたいと思う！そんな駅前にして欲しいです！</p>	-	<p>御意見ありがとうございます。 具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。 【その他】</p>
22	<p>大きな方針に反対です。昼間の人口減の原因をしっかりと認識出来ていないと思います。公共施設を整備したり商業施設を誘致したりすると昼間の人口減を解消できると考えているのでしょうか。そもそも白井市の人口が減少している問題を考えて頂きたいです。（答えは簡単で新しく住もうと思う人が少ない→魅力がない）これを長い目で見て解消するには、物理的に人口を増やす必要があると考えます。それは若者や子供を増やすということです。白井市は子育てに対する補助や支援環境があまりにも少ないと思います。子供を病院へ連れて行き、100円払わせる市に誰が住もうと思いますか。新しく施設を作る前に子供を産みやすい環境を整備する事と育児がしやすい環境を積極的に整える事が人口増加に繋がると考えます。</p>	-	<p>子どもを産みやすい、育児しやすい環境を積極的に整える事は重要だと考えています。 子育て支援策ついて、第6次総合計画前期基本計画では、「若い世代が結婚や出産などのライフイベントを安心して迎えられること」、「共働きやひとり親世帯などの負担を軽減するために、子育てしやすい環境を整えること」、「白井市で子育てをしたいと思う若い世代の定住を促進するため、魅力的な教育環境を整えること」が今後重要であるとし、前期実施計画にて推進する各事業を定めています。 駅周辺の再整備に当たっては、エリアの価値（魅力）を向上し、住宅政策や産業振興、公共施設の最適配置等を一体的に検討するなど、事業効果の最大化を図ってまいります。 【その他】</p>
23	<p>白井駅・西白井駅どちらについても、ニュータウン街開き当初に設置された施設が時代のニーズに合わなくなっていると思います。特に地権者に還元された商業施設の陳腐化・硬直化があるように思えてなりません。西白井駅南口や白井駅北口など既存施設がないゾーンについては、民間商業施設が稼働しており、既存商業施設の整</p>	-	<p>千葉北道路(464号線)白井市ハーフインターチェンジ付近において、「七次・白井木戸地区まちづくり協議会」が令和4年度に設立されており、市は、地権者とともにエリア一体的な土地利用について協議しています。</p>

	<p>理刷新はマストであると思います。また、複合センター・駅前センターの公共施設についても資料にもあるように用途が限定されてしまい開かれた場にはなっていない現状があると思います。現在清水口小学校区の「まちづくり協議会」の立ち上げ検討を進めていますが、「駅前の賑わい送出」は主要なテーマです。新鎌ヶ谷と千葉ニュータウン中央に挟まれた中で大規模な商業施設は難しいと思いますが、駅前については既存商業施設のスペースを活用してニーズにあった飲食店舗など「いつでも立ち寄れる居場所」作りたと思います。今回は駅前ビジョンとのことですが、国道464の沿いの沿道についてもロードサイド商業施設の誘致などが出来ると地域活性になるのではないのでしょうか。16号沿いの「ヤオパーク」のような農産物販売の施設が464側にもあっても良いかもしれません。</p>	<p>令和7年度は「農業と商業が生むにぎわいと地域振興の場」をエリアコンセプトに、事業検討パートナーを選定しました。</p> <p>具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺及び七次・白井木戸地区に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
24	<p>①災害に強いそして子育てに強い自治体のシンボルとして両駅の開発はとても重大 ②白井駅南口駅前広場と駅前センター、商店街の再開発 一戸建て住宅をリフォームして子育て世代に貸せるよう、駅前に貸主が住める賃貸住宅の提供。市有地を賃貸住宅業者に低額貸与。 ③白井駅 梨の泉を撤去し、民間に集いの場所を提供。 ④ 西白井駅 屋根がある歩道橋の再整備 駅前商店街の上階部分を賃貸マンションとして提供</p>	<p>御意見のとおり、駅周辺の再整備に当たっては、エリアの価値（魅力）を向上し、住宅政策や産業振興、公共施設の最適配置等を一体的に検討し、事業効果の最大化を図ることが重要だと考えています。</p> <p>具体的な機能については今後の検討になりますが、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
25	<p>日常生活において白井駅が生活圏の為特に白井駅周辺について感じている事 人が気軽に集う事ができ、住民同士の交流ができる場所があると良いと思う。それは屋外で椅子とテーブルがセットされている物(以前仙台を訪れた時にその様な物を見て良いなと思った) 白井の駅前や商店街前の通りは広々としているので設置しやすいと思う。多くの人々が飲食、勉強、お喋り等できる様な場所。外で生き生きとし、楽しそうにしている人が見える 街は住民にと</p>	<p>白井駅、西白井駅周辺において、交流機能の整備は重要だと考えています。</p> <p>御意見にあった仙台市では、歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）を活用して、一般的には設置が難しいテーブルやイス等の設置を可能とし、歩行者の滞留や沿道のにぎわい創出、地域の活性化等につなげています。</p>

<p>って誇りになると思う。それは西白井駅に於いても同じです。</p>	<p>一方、白井駅前にある、いわゆる駅前広場は、「道路」扱いであり、道路管理者及び交通管理者の許可がなければ、テーブルやイスを設置することができません。</p> <p>白井市に住む、働く、訪れる、それぞれのひとにとって、より魅力的で快適な拠点をつくるため、総合計画や本ビジョンに基づき、官民連携を図りながら、駅周辺に必要な環境整備を進めてまいります。</p> <p>【その他】</p>
-------------------------------------	--